2024年10月８日
株式会社チェンジホールディングス
(コード番号：3962　東証プライム)

**株式会社ガバメイツ こども家庭庁「こども政策DXモデル事業」を受託**
**「必要な時に必要な方へ」産後ケアDXの構築を沖縄市で推進**

当社の子会社で株式会社ガバメイツ（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長 別府幹雄、以下ガバメイツ）は、こども家庭庁が公募した「こども政策DXモデル事業（令和６年度）」において、沖縄県沖縄市と連携し「産後ケアDX」の構築に取り組む業務を受託しました。

本事業は、産後ケアのデジタル化を通じて、必要な時に必要な方へケアを迅速に提供する体制の構築を目指します。産後ケアの重要性が増す中、各自治体による運用の差異が利用者、施設、自治体職員に負担をもたらしているのが現状です。本事業では、産後ケアに関わる一連のプロセスをデジタル化し、広域での共同利用を可能にすることで、以下の課題解決を図ります。

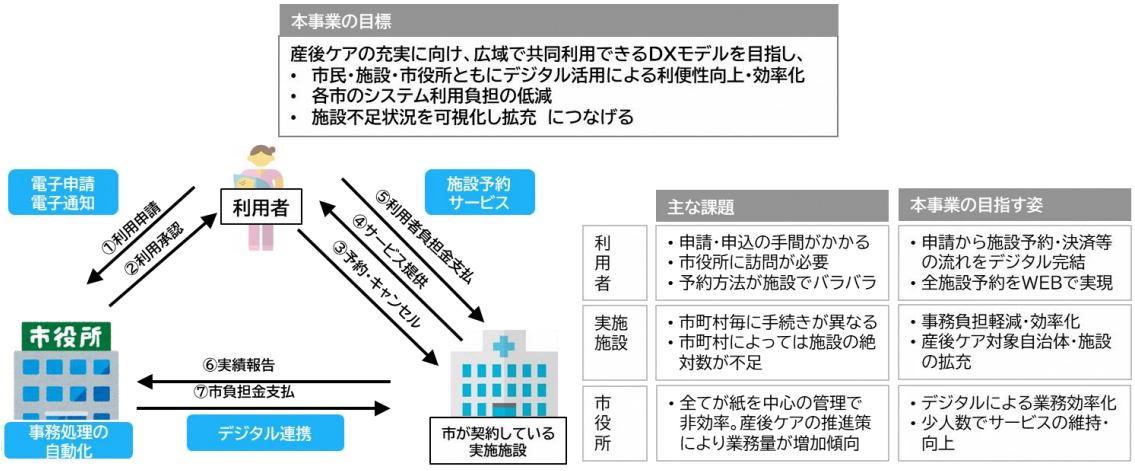
■背景

産後ケアの充実に向けた国の政策として、対象者拡大や施設の充実に向けた施策が進められていますが、施設の予約方法や自治体への報告方法が統一されていない等、自治体ごとの運用方法が異なるため、利用者、施設の従業員、自治体職員それぞれに大きな負担がかかっています。また、特に小規模自治体では人材不足が深刻で、最適な運用方法を検討することが難しい状況です。

本事業では、この課題を解決するため、利用者・施設・自治体間のプロセスをデジタル化し、広域で共同利用可能なDXモデルの構築をすることにより、利用者の利便性の向上、自治体と施設間の予約および実績管理にかかる事務負担の軽減、そして単独自治体での対応が困難な現状の改善を目指します。さらに、DXとそれに伴うBPRを通じて、産後ケア事業の利用促進と事務処理の効率化を実現するだけでなく、統計データの収集を容易にし、そのデータを活用することで、必要なサービスの提供やサービスの質の向上に自治体と施設が共に取り組める体制づくりも目指します。

■取り組み概要

本事業では、沖縄市で導入済のデジタルツール（LoGoフォームおよびRPA）および新たに導入予定の施設予約管理システム（Spacepad）を活用し、産後ケアの改善モデルを設計・実証します。また、デジタルツール（電子申請ツール、予約管理システム、RPAなど）の違いにも対応可能な共通モデルを作成し、さらに広域での共同利用を目指します。これにより、システムの利用負担を最小限にし、さらに広域での施設不足の状況の可視化を進め、施設の拡充と産後ケアのさらなる充実につなげます。




本件に関するお問い合わせ先：
株式会社ガバメイツ
お客様共創本部
メールアドレス：info@govmates.jp

株式会社チェンジホールディングス
Control&Management 担当
メールアドレス：ir_info@change-jp.com